

高等専門学校現況表（令和●年5月1日現在）

項		記							入			欄		備		考	
フリガナ設置者		ガッコウホウジンキョウガクエン 学校法人機構学園															
フリガナ 高等専門学校の名称		コダイラコウトウセンモンガッコウ 小平高等専門学校															併設校：NIAD大学
高等専門学校本部の所在地		東京都小平市学園西町1-29-1															
教育組織及び教員・教育支援者等	準学士課程	学科の名称		修業年限	学級数	入学定員	編入学定員	収容定員	称号	平均入学定員充足率	開設年度	別地校地	所 在 地			キャンパス選択制	
		機械工学科		5	1	40	(年次) 人 (3年次) 若干名	200	準学士	1.00	S40	無	東京都小平市学園西町1-29-1 (小平キャンパス)				
		物質工学科		5	1	40	(3年次) 若干名	200	準学士	0.99	S40	無	同 上				
		建築学科		5	1	40	(3年次) 若干名	200	準学士	0.91	S40	無	同 上				
		商船学科		5.5	1	40	(3年次) 若干名	240	準学士	1.00	S42	無	東京都千代田区一ツ橋2-1-1 (竹橋キャンパス)				
		総合工学科		5	2	80	(3年次) 若干名	400	準学士	0.98	H25	有	小平キャンパス及び竹橋キャンパス				
		計		—	6	240	—	1,240	—	—	—	—	—				
	専攻科課程	専攻の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	平均入学定員充足率	開設年度	別地校地	基礎学科等名称					海事工学専攻については秋期入学のため、平均入学定員充足率はH〇～〇年度データをもとに算出した。	
		生産建設工学専攻		2	12	—	24	1.29	H12	無	機械工学科、建築学科、総合工学科						
		応用物質工学専攻		2	4	—	8	1.26	H12	無	物質工学科						
海事工学専攻		2	4	—	8	0.80	H12	無	商船学科								
計		—	24	—	48	—	—	—	—								
学生募集停止中の学科・専攻																	
教育組織及び教員・教育支援者等	準学士課程※	学科等の名称		基 幹 教 員						助手		基幹教員以外の教員 (助手を除く)		基幹教員数： 小平キャンパス 27人 竹橋キャンパス 5人  小平キャンパス  小平キャンパス  小平キャンパス  竹橋キャンパス  基幹教員数： 小平キャンパス 19人 竹橋キャンパス 3人  竹橋キャンパス			
				教授	准教授	講師	助教	計	基準数						うち教授・准教授		
		一般科目担当		8人	13人	6人	4人	31人	—								
		a.		1人	0人	0人	0人	1人	—								
		b.		人数は次の区分に基づき記載してください。 a：基幹教員のうち、専ら当該高等専門学校の教育に従事する者 b：基幹教員のうち、年間8単位以上の授業科目を担当する者 (aに該当する者を除く。)											10人		
		一般科目担当 計															
		機械工学科（専門科目担当）		a：基幹教員のうち、専ら当該高等専門学校の教育に従事する者 b：基幹教員のうち、年間8単位以上の授業科目を担当する者 (aに該当する者を除く。)											小平キャンパス		
		a.															
		b.															
		計		6人	4人	0人	1人	11人	—	—	0人	3人	みなし基幹教員内1人				
		物質工学科（専門科目担当）													小平キャンパス		
		a.		4人	6人	1人	0人	0人									
		b.		0人	0人	0人	0人	0人									
		計		4人	6人	1人	0人	0人				0人	小平キャンパス				
		建築学科（専門科目担当）													小平キャンパス		
		a.		4人	3人	0人	3人										
		b.		0人	0人	0人	0人	0人									
		計		4人	3人	0人	3人					0人					
		商船学科（専門科目担当）													竹橋キャンパス		
		a.		3人	5人	0人	1人	9人	—	—							
		b.		0人	0人	0人	0人	0人	—	—							
		計		3人	5人	0人	1人	9人	—	—	0人	2人					
		総合工学科（専門科目担当）															
		a.		7人	9人	2人	4人	22人	—	—							
		b.		0人	0人	0人	0人	0人	—	—							
		計		7人	9人	2人	4人	22人	—	—	0人	0人					
		専門科目担当 計		24人	27人	3人	9人	63人	41人	34人	0人	5人					
	その他（学科所属以外の教員）												竹橋キャンパス				
	a.		0	2	2	0	0	—	—								
	b.		0	0	0	0	0	—	—								
	その他 計		0人	2人	2人	0人	0人	—	—	0人	2人						
	教員以外の職員等	職 種		専 任				非 常 勤				計					
		事務職員（うち主に教育支援者）		30（28）人				5（4）人				35（32）人					
		技術職員（うち主に教育支援者）		14（14）人				3（3）人				17（17）人					
		図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等（うち司書資格保有者）		2（2）人				0（0）人				2（2）人					
		指 導 補 助 者		0				1				1			人		
		そ の 他 の 職 員		0				5				5			人		
		計		46				人				14			人		

進 学 士 課 程 の 学 習 ・ 教 育 の 成 果 等	進 学 士 課 程	年度	卒業者数	就職 希望者数	就職者数	就職率	進学 希望者数	進学者数	進学率	主な就職先 業種	主な進学先の 学部・専攻科等
			人	人	人	%	人	人	%		
		平成○年度	240	160	160	100.0	80	79	98.7	製造業、電 気・ガス・ 熱供給・水 道業、情報 通信業、建 設業	工学部、理 工学部、理 学部、農学 部、機械工 学専攻
		令和○年度	237	158	158	100.0	79	79	100.0		
		令和○年度	238	160	160	100.0			100.0		
		令和○年度	240	160	160	100.0			100.0		
		令和○年度	236	158	158	100.0			98.7		
		計	1,191 人	796 人	796 人	[平均] 100.0 %	395 人	393 人	[平均] 99.4 %		
		年度	修了者数	就職 希望者数	就職者数	就職率	進学 希望者数	進学者数	進学率	主な就職先 業種	主な進学先の 研究科等
			人	人	人	%	人	人	%		
平成○年度	48	30	30	100.0	18	18	100.0	製造業、電 気・ガス・ 熱供給・水 道業、情報 通信業、建 設業	工学研究 科、情報工 学研究科、 自然科学研 究科、物質 工学研究科		
令和○年度	48	28	28	100.0	20	19	95.0				
令和○年度	47	30	30	100.0	17	17	100.0				
令和○年度	48	29	29	100.0	19	18	94.7				
令和○年度	46	30	30	100.0	16	16	100.0				
計	237 人	147 人	147 人	[平均] 100.0 %	90 人	88 人	[平均] 97.9 %				

  

学 生 環 境 及 び 学 習 支 援 等	校 舎 等	区 分		基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	N I A D 大学と共用	
		校舎敷地面積（小平キャンパス）		—	50,000 m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>	1,000,000 m <sup>2</sup>	1,052,000 m <sup>2</sup>		
		校舎敷地面積（竹橋キャンパス）		—	50,000 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	50,000 m <sup>2</sup>		
		運 動 場 用 地（小平キャンパス）		—	50,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	50,000 m <sup>2</sup>	100,000 m <sup>2</sup>		
		運 動 場 用 地（竹橋キャンパス）		—	50,000 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	50,000 m <sup>2</sup>		
		校地面積計		12,400 m <sup>2</sup>	200,000 m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>	1,050,000 m <sup>2</sup>	1,252,000 m <sup>2</sup>		
		その他敷地面積（小平キャンパス）		—	10,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	20,000 m <sup>2</sup>	30,000 m <sup>2</sup>		
		その他敷地面積（竹橋キャンパス）		—	10,000 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	10,000 m <sup>2</sup>		
校 舎 等	校 舎 面 積 等	区 分		基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	N I A D 大学と共用	
		小平キャンパス校舎		—	30,000.00 m <sup>2</sup>	3,000.00 m <sup>2</sup>	30,000.00 m <sup>2</sup>	63,000.00 m <sup>2</sup>		
		竹橋キャンパス校舎		—	30,000.00 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	30,000.00 m <sup>2</sup>		
		校舎面積計		15,206.60 m <sup>2</sup>	60,000.00 m <sup>2</sup>	3,000.00 m <sup>2</sup>	30,000.00 m <sup>2</sup>	93,000.00 m <sup>2</sup>		
		小平キャンパスその他の建物		—	70,000.00 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	70,000.00 m <sup>2</sup>	140,000.00 m <sup>2</sup>		
		竹橋キャンパスその他の建物		—	70,000.00 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	70,000.00 m <sup>2</sup>	140,000.00 m <sup>2</sup>		
		区 分		校長室	教員室	会議室	事務室	保健室		学生控室
		小平キャンパス		1 室	80 室	2 室	3 室	1 室		1 室
		竹橋キャンパス		0 室	30 室	2 室	3 室	1 室		1 室
		区 分		講義室	演習室	実験・実習室	研究室	情報処理学習施設		語学学習施設
小平キャンパス		30 室	5 室	30 室	5 室	2 室	1 室			
竹橋キャンパス		30 室	5 室	20 室	5 室	1 室	1 室			
校 舎 等	図 書 館 ・ 図 書 資 料 等	図書館等の名称		面積	閲覧席座数	開館時間		N I A D 大学と共用		
		小平図書館		3,000 m <sup>2</sup>	130 席	月～金曜日 9:00～20:00 ただし、休業期間 9:00～17:00				
		竹橋図書館		1,500 m <sup>2</sup>	75 席	土曜日 10:00～17:00				
		図書館等の名称		図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料その他			
		小平図書館		60,000 [10,000] 冊	10,000 [2,000] 種	5,000 [1,000] 種	700 点			
		竹橋図書館		30,000 [5,000] 冊	3,300 [310] 冊	3,000 [300] 冊	500 点			
		計		90,000 [15,000] 冊	13,300 [2,310] 冊	8,000 [1,300] 種				
		体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設				それぞれ電子ジャーナルを含めた数を入力してください。				
		小平キャンパス		・体育館、小平学生会館・食堂、こだいら男子寮、こだいら女子寮						
		竹橋キャンパス		・体育館、竹橋学生会館・食堂、たけばし男子寮、たけばし女子寮						
附 属 施 設 等	区 分		附属施設・センター等の名称							
	基準施設		実験・実習工場、練習船機構丸							
	その他の施設									
	その他の事項		教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。							
設置基準第28条に係る特例の認定										

※教員の区分

- a：基幹教員のうち、専ら当該高等専門学校の教育に従事する者  
b：基幹教員のうち、年間8単位以上の授業科目を担当する者(aに該当する者を除く。)

(注) 本様式のほか、「様式2-2 平均入学定員充足率計算表」・「様式2-3 担当教員一覧表」・「様式2-4 ウェブサイト掲載項目チェック表」・「様式2-5 認証評価以外の第三者評価の状況」・「様式2-6 教員の年齢・性別構成」・「様式2-7 法令遵守事項、危機管理体制等一覧」を作成の上、併せて提出してください。

## 記入要領（改正後基準）

【高等専門学校設置基準の一部改正（令和４年１０月１日施行）に伴う対応について】

- 改正後の高等専門学校設置基準における教員に関する規定を適用している場合には、本記入要領及び「（改正後基準）」の様式を使用してください。
  - 評価実施年度の５月１日現在（別に定める場合を除く。）で作成してください。なお、該当しない事項は、当該欄は削除せず、「斜線」を引いてください。
  - 「設置者」及び「高等専門学校の名称」の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。
  - 「高等専門学校本部の所在地」の欄は、高等専門学校本部の所在地（住居表示）を記入してください。高等専門学校を設置する法人本部の位置ではありませんので注意してください。なお、高等専門学校本部の所在地の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。
- １．「教育組織及び教員・教育支援者等【領域２・５・６】」の欄について
- ① 「準学士課程」の欄
    - ア 「学科の名称」の欄
      - ・ 学科の単位で記入してください。
      - ・ 廃止又は改組転換等により学生の募集を停止し、学生の卒業を待って廃止予定の教育研究組織（以下「廃止予定組織」という。）については、この欄に記入せず、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。
    - イ 「修業年限」「学級数」「入学定員」「編入学定員」「収容定員」の欄
      - ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、修業年限、学級数、入学定員、編入学定員、収容定員を記入してください。
      - ・ 編入学定員を設定している場合は、編入学を行う年次とともに記入してください。編入学試験を募集定員若干名で実施している場合は、「若干名」と記入してください。
    - ウ 「称号」の欄
      - ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、授与する称号の名称を記入してください。
    - エ 「平均入学定員充足率」の欄
      - ・ 平均入学定員充足率とは、評価実施年度を含めた直近５年間における入学定員に対

する各年度の入学者の割合の平均を指します。

- ・ 平均入学定員充足率は、様式 2－2「平均入学定員充足率計算表」を用いて算出してください。
- ・ 「平均入学定員充足率」の欄には、「学科等の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、各年度の入学者（学年進行中の場合は設置後経過した年度分）に対する各年度の入学定員充足率（年度ごとに小数点第 3 位を切り捨て）を加算し、5 年（学年進行中の場合は設置後経過した年数）で割った数値（小数点第 3 位を切り捨て）を記入することになります。

オ 「別地校地」の欄

- ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織のうち、同一の組織における教育活動を 2 以上の校地において行う場合は、この欄に「有」と記入してください。
- ・ なお、別地校地を有する学科等に該当する事例は、次のとおりです。
  - a. 各キャンパスで 5 年間の教育を完結して行い、かつ学生がいずれのキャンパスで学ぶかを選択する場合（いわゆるキャンパス選択型）
  - b. 学年ごとに教育研究を行うキャンパスが分かれる場合  
（A 校地で 1 年次教育、B 校地で 2 年次教育）
  - c. 一部の科目あるいは指定曜日のみ別キャンパスで行う場合  
（A 校地の学生が B 校地の必修授業を履修する場合）

カ 「所在地」の欄

- ・ 学科の所在地（住居表示）を記入してください。なお、2 以上の校地において教育活動を行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と付記してください。

キ 「備考」の欄

- ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織に特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。

② 「専攻科課程」の欄

ア 「専攻の名称」の欄

- ・ 専攻の単位で記入してください。
- ・ 廃止予定組織については、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。

イ 「基礎学科等名称」の欄

- ・ 「専攻の名称」の欄に記入した組織の基礎となる学科（又はコース等）を記入してください。なお、基礎となる学科等の所在地と異なる場合は当該専攻の所在地（又はキャンパス名称）を併記してください。

ウ 上記以外の欄

- ・ 準学士課程に準じて記入してください。

## 2. 「教員及び教育支援者等【領域2】」の欄について

### ① 「準学士課程」の欄

#### ア 「学科等の名称」の欄

- ・ 専門科目担当の教員について記載するにあたっては、「教育組織及び教員・教育支援者等【領域2・5・6】」の「学科の名称」の欄に掲げる組織単位で記入してください。
- ・ 「教育及び教員・教育支援者等【領域2・5・6】」の欄に掲げる学科以外に、一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を有する場合は、当該組織について備考欄に記載してください。
- ・ 廃止予定組織は記入しないでください。ただし、当該廃止予定組織のみに所属する教員がいる場合には記入してください。

#### イ 「教授」「准教授」「講師」「助教」の欄

- ・ 基幹教員のうち、主に一般科目を担当する教員については、一般科目担当の欄に人数を記入してください。
- ・ 基幹教員のうち、主に専門科目を担当する教員については、所属する学科ごとに、専門科目担当の欄に人数を記入してください。
- ・ それぞれの人数を記載するにあたっては、次の a または b の区分に基づき記載してください。
  - a：基幹教員のうち、専ら当該高等専門学校教育に従事する者
  - b：基幹教員のうち、年間8単位以上の授業科目を担当する者（aに該当する者を除く。）
- ・ 複数の学科等で授業科目を担当する基幹教員については、高等専門学校側での判断により、1つの学科等の欄に計上してください。
- ・ 学科所属以外の基幹教員については、その他の欄に、上記 a または b の区分に基づき人数を記入してください。
- ・ 当該組織に所属する教員であって、準学士課程の授業科目を担当しない教員は本項には算入できません。授業科目を担当しない教員には、専ら研究や管理運営にのみ従事する教員のほか、評価実施年度において休職や長期海外渡航者・人事交流等で、年間を通じて授業を担当しない教員を含みます。
- ・ みなし基幹教員がいる場合は、その人数を備考欄に記載し、また、該当する教員について様式2-3の備考欄に「みなし基幹教員」とご記載ください。

#### ウ 「基準数」の欄

- ・ 高等専門学校設置基準第6条に定める基幹教員数を記入してください。また、専門科目を担当する基幹教員においては、同設置基準第8条の規定に基づき、内数として、教授及び准教授の教員数を記入してください。

エ 「助手」の欄

- ・ 学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する助手の数を記入してください。

オ 「基幹教員以外の教員（助手を除く）」の欄

- ・ 基幹教員以外の教員（助手を除く）の数を記入してください。なお、客員教員や短時間勤務に該当する教員等の基幹教員には該当しない者も含まれます。
- ・ 一般科目及び専門科目の双方を担当する基幹教員以外の教員（助手を除く）については、高等専門学校側での判断により「一般科目担当」又は「専門科目担当」のいずれか一方に計上してください。
- ・ 他の学科等に所属する基幹教員であって、当該学科等の授業科目を担当する教員は、この欄には算入しないでください。

カ 「備考」の欄

- ・ 複数のキャンパスを有する場合は、学科別にキャンパス名を記載し、各キャンパスに所属する基幹教員数の内訳を記載してください。

② 「教員以外の職員等」の欄

- ・ 「事務職員」及び「技術職員」に係る「（うち主に教育支援者）」とは、学科・専攻等において編成された教育課程を遂行するに必要な教育上の支援を担う者をいいます。例えば、教務関係や厚生補導等を担う事務職員、実験実習又は実技の授業科目等の教育活動の支援や補助等を行う技術職員が該当します。
- ・ 「図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等」とは、図書館の機能を十分発揮させるために必要な司書等の専門的知識を有する職員をいいます。そのうち「（うち司書資格保有者）」とは、図書館法に規定された司書となる資格を有する者が該当します。
- ・ 「指導補助者」とは、授業を補助させる目的で各高等専門学校が定めた、当該授業科目を担当する教員以外の教員、または学生等が該当します。
- ・ 「その他の職員」とは、守衛、自動車運転手、作業員等の技能労務職員等が該当します。
- ・ 契約職員、派遣職員等は、「非常勤」に分類してください。

3. 「準学士課程の学習・教育の成果等【領域5・6】」の欄について

① 「準学士課程」の欄

ア 「卒業者数」の欄

- ・ 準学士課程全体での卒業者数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。

イ 「就職希望者数」の欄

- ・ アの卒業者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度

ごとに、記入してください。

- ・ 就職希望者とは、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

ウ 「就職者数」の欄

- ・ イの就職希望者数のうち、就職者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職者とは、就職希望者のうち、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

エ 「就職率」の欄

- ・ 各対象年度の翌年4月1日の調査時点での就職率を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者数で除したものを百分率（小数点第2位を切り捨て）で示してください。

オ 「進学希望者数」の欄

- ・ アの卒業者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 進学希望者とは、卒業年度中に進学先の入学試験を受け、卒業後速やかに進学することを希望する者をいい、卒業後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

カ 「進学者数」の欄

- ・ 進学者とは、進学希望者のうち、正規の学生として最終的に進学した者をいいます。

キ 「進学率」の欄

- ・ 各対象年度の翌年4月1日の調査時点での進学率を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 進学率とは、進学希望者に占める進学者の割合をいい、調査時点における進学者数を進学希望者数で除したものを百分率（小数点第2位を切り捨て）で示してください。

ク 「主な就職先業種」の欄

- ・ 評価実施前年度における就職者の就職先の業種の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
- ・ 就職先の業種の分類に当たっては、日本標準産業分類大分類に従って行ってください。

ケ 「主な進学先の学部・専攻科等」の欄

- ・ 評価実施前年度における進学者の進学先の大学の学部、高等専門学校の専攻科の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
- ・ 具体的な教育機関名（〇〇高等専門学校、〇〇大学）の記入は不要です。

② 「専攻科課程」の欄

ア 「修了者数」の欄

- ・ 専攻科課程全体での修了者数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。

イ 「就職希望者数」の欄

- ・ アの修了者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職希望者とは、修了年度中に就職活動を行い、修了後速やかに就職することを希望する者をいい、修了後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

ウ 「進学希望者数」の欄

- ・ アの修了者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 進学希望者とは、修了年度中に進学先の入学試験を受け、修了後速やかに進学することを希望する者をいい、修了後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

エ 「主な進学先の研究科等」の欄

- ・ 評価実施前年度における進学者の進学先の大学の研究科の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
- ・ 具体的な教育機関名（〇〇大学）の記入は不要です。

オ 上記以外の欄

- ・ 準学士課程に準じて記入してください。

4. 「学習環境及び学生支援等【領域3】」の欄について

① 「校地等」の欄

ア 「区分」の欄

- ・ 2以上の校地（校舎敷地）を有する場合は、各キャンパス（校舎敷地）単位に区分し、各校舎敷地面積を記入してください。
- ・ 運動場用地が隣接又は近接している場合は、区分して記入し、同一敷地により面積を区分できない場合に限り、校舎敷地面積に算入して「備考」の欄に「運動場用地を含む」と記入してください。

イ 「基準面積」の欄

- ・ 高等専門学校設置基準第25条により算出した面積を記入してください。



- ・ 当該高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該高等専門学校の校地面積を記入するとともに、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を「備考」の欄に記入してください。この場合、他の共有する学校等の基準面積を当該高等専門学校の「基準面積」の欄には加算しないでください。

ウ 「専用」「共用」「共用する他の学校等の専用」の欄

- ・ 「専用」の欄には、当該高等専門学校が専用で使用する敷地面積を当該敷地区分により記入してください。
- ・ 「共用」の欄には、当該高等専門学校が他の学校等と共用する敷地面積を当該敷地区分により記入してください。
- ・ 「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該高等専門学校の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を「その他敷地面積」に記入してください。

エ 「備考」の欄

- ・ 高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を記入してください。
- ・ キャンパス移転計画等、特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。

② 「校舎等」の欄

ア 「校舎面積等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、上記①「校地等」に準じて各欄に記入してください。
- ・ 「基準面積」の欄には、高等専門学校設置基準第 25 条により算出した面積を記入してください。

イ 「管理施設等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「校長室」「教員室」「会議室」「事務室」「保健室」「学生控室」の各欄に室数を記入してください。

ウ 「教室・研究室等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「講義室」「演習室」「実験・実習室」「研究室」「情報処理学習施設」「語学学習施設」の各欄に室数を記入してください。

③ 「図書館・図書資料等」

前年度に日本図書館協会の実施する大学・短期大学・高専図書館調査に回答されている場合は、その値で回答いただいても構いませんが、備考欄に「〇〇年度図書館調査回答」とご記載ください。

ア 「図書館等の名称」の欄

- ・ 学則等において設置された図書館（室）を記入してください。ただし、学科・専攻の事情により、教職員や学生等への利便性を考慮して任意に置かれた図書室等は含み

ません。

イ 「学術雑誌」の欄

- ・ 「学術雑誌」の欄は、「電子ジャーナル」を含めた数を記入してください。
- ・ 「電子ジャーナル」の欄は、利用可能なタイトル数を記入してください。

ウ 「視聴覚資料その他」の欄

- ・ 視聴覚資料その他とは、視聴覚資料のほか、標本など教育活動に必要なその他の資料を含みます。

④ 「体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、各欄を記入してください。

⑤ 「附属施設等」の欄

- ・ 「基準施設」とは、高等専門学校設置基準第 27 条に定める附属施設をいい、その施設名称を記入してください。
- ・ 「その他の施設」には、上記の基準施設に該当しないその他の施設を記入してください。

⑥ 「その他の事項」

- ・ 施設・設備等において、特記すべき又は参考となる事項がある場合は記入してください。

5. 「設置基準第 28 条に係る特例の認定」の欄について

高等専門学校設置基準第 28 条により、教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。

平均入学定員充足率計算表

課程	学科・専攻名	項目	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	入学定員に対する 各平均比率
準学士	A工学科	入学者数	学科・専攻の名称を記入してください。				40	0.99
		入学定員					40	
		入学定員充足率					1.00	
	B工学科	入学者数	改組や廃止等により、評価実施年度以前に学生募集を停止している学科・専攻については記入しないでください。				40	0.99
		入学定員					40	
		入学定員充足率					1.00	
	C工学科 ※平成〇年度設置	入学者数	設置以前・改組前の年度については、記入せず、斜線を引いてください。				80	1.00
		入学定員					80	
		入学定員充足率					1.00	
	D'工学科 平成〇年度までD工学科、平成〇年度よりD'工学科に名称変更	入学者数	40	39	40			0.99
		入学定員	40	40	40			
		入学定員充足率	ここは備考欄として使用し、改組等の状況を記入してください。				1.00	
専攻科	E商船学科	入学者数	40	40	40			0.99
		入学定員	40	40	40			
		入学定員充足率	0.97	1.00	1.00	1.00	1.00	
	AB工学専攻	入学者数	8	9	11	12	12	1.29
		入学定員	8	8	8	8	8	
		入学定員充足率	1.00	1.12	1.37	1.50	1.50	
	C海事工学専攻 10月入学 記載データはH〇～〇	入学者数	3	3	4	3	3	0.80
		入学定員	4	4	4	4	4	
		入学定員充足率	0.75	0.75	1.00	0.75	0.75	
		入学者数	秋期入学を実施している場合は、その旨を記入し、評価実施前年度までの過去5年度分のデータを入力してください。					
		入学定員						
		入学定員充足率						

## 記入要領

- 1つのシートに全学科等のデータを記入してください。学科等の学生募集単位ごとに入学者数、入学定員をそれぞれ記入してください。

## 1 「学生募集単位」の考え方

- 準学士課程においては学科ごと、専攻科課程においては専攻ごとに記入することを原則とし、募集定員を設定した単位ごとに記入してください。  
(例) X学科の下にAコース、Bコースの複数のコース等を設置しているが、X学科全体として募集定員を設定している場合  
→ X学科を学生募集単位と考えてください。

## 2 改組等に関する考え方

- 評価実施年度以前に学生募集を停止した学科等については原則記入しないでください。  
(例) A学科、B学科を融合させて、平成30年度にA B学科を設置した場合  
→ 平成30年度、平成31年度のA B学科のデータを記入してください。  
平成29年度以前のA学科、B学科のデータについては記入しないでください。

(例外) 平成29年度にA学科をA'学科に名称変更した場合

- A'学科として記入してください。  
平成27年度、平成28年度のデータについてはA学科のものを記入してください。

## ●. ■▲●の専門分野と担当授業科目

令和●●年5月1日現在

	基幹教員の種類	氏名	職名	学位	校務分担	専門分野	担当授業科目 (準学士課程)	担当授業科目 (専攻科課程)	実務経験	技術資格	備考
基幹教員	a	小平 太郎	教授	博士 (工学)	〇〇主事、 △△委員長	〇〇工学、 △△工学	〇〇特別研究	△△特別実験	有	技術士	民間企業勤務経験 (〇年)
	b	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		● ● ● ●	助教	● ●	● ●、● ●	● ●、● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	.	.	.	.
		● ● ● ●	助教	● ●	● ●、● ●	● ●、● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	有	.	みなし基幹教員
		.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
基幹教員以外の教員（助手除く）		● ● ● ●	特任教授	.	● ●	△ △ 工学実験	● ● ● ● ● ● ● ●	無	無	専攻科担当（適格）	
		● ● ● ●	非常勤講師	.	.	.	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	●	● ● ● ●	.
		● ● ● ●	嘱託教授	.	.	.	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	●	● ● ● ●	.

「助手」については、教育研究の補助を主たる職務とするものと位置付けられているため、本票に記載しないでください。

学位に付記する分野名称も併せて記入してください。

評価実施年度に担当している授業科目を記入してください。

下記「基幹教員の種類」a, b の区分に基づき、プルダウンから選択したうえで、評価実施年度に授業科目を担当している基幹教員について記入してください。

令和2年11月の高等専門学校設置基準の一部改正に伴い、一定の要件を満たす実務家教員を「みなし基幹教員」とすることが可能となっています。同設置基準第8条の2に定めるみなし基幹教員がいる場合は、該当する教員について備考欄に「みなし基幹教員」と記載してください。いる場合は様式2-1にも影響します。

特任・嘱託等の場合は、その旨も記載してください。

評価実施年度に授業科目を担当している基幹教員以外の教員（助手除く）について記入してください。

行が足りない場合は、適宜追加してください。

\* 「基幹教員の種類」は、リスト(a、b)から選択してください。

a: 一般科目担当基幹教員のうち、専ら当該高等専門学校の教育に従事する者

b: 一般科目担当基幹教員のうち、年間8単位以上の授業科目を担当する者(aに該当する者を除く。)

\* 専攻科の科目を担当する教員は備考欄に「専攻科担当」と記入してください。

ただし、特例適用認定における「学修総まとめ科目」相当教員としての適格性審査において「適格」と判定された教員については、備考欄に「専攻科担当(適格)」と記載してください。

\* 基幹教員の種類bに該当する教員の担当授業科目には、カッコ書きで単位数を記載してください。例：電気回路Ⅰ（2単位）

## 記入要領

## 1. シートについて

- ・各教員の担当状況に応じて、担当教員を、様式内のいずれか1つのシートに分類し、データを記入してください。
- 「1. 一般科目担当教員の専門分野と担当授業科目」
  - 「2-1～2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（〇〇学科）」
  - 「3. その他担当教員の専門分野と担当授業科目（学科所属以外の教員）」
- ・学科数に応じて適宜、シートを追加又は削除の上、使用してください。
- ・1つの学科の下に複数のコース等の組織を設置し、コース等単位での教員配置を行っている場合は、コース別にシートを作成してもかまいません。
- ・「2-1～2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（〇〇学科）」の場合、当該シート1行目のタイトルを「2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（〇〇学科△△コース）」等とし、シート名を「2-〇. 【専門】〇〇学科△△コース」等としてください。

## 2. 担当教員の分類の考え方について

- ・準学士課程における担当状況をもとに各教員を「1. 一般科目担当教員」又は「2. 専門科目担当教員」に分類してください。専攻科課程の授業科目のみを担当する教員等については「3. その他担当教員」に分類してください。

(例) 教員 A が準学士課程において、一般科目及び専門科目の双方、又は複数の学科の授業科目を担当している場合

→ 該当する全てのシートに記入してください。

その場合、様式 2－1 高等専門学校現況票の「教育組織及び教員・教育支援者等【基準 2】」欄において、当該教員を計上している方の学科等のシートの該当備考欄には、他のシートにも再掲がある旨を記載してください。（該当学科名及び授業科目名も併せて記載してください。）

ウェブサイト掲載項目チェック表【小平高等専門学校】

記入要領

- 全項目が学校教育法施行規則第172条の2及びその他法令により、公表を求められている内容のため、漏れなく記入してください。（「注1：公表することが望ましいもの」を除く。）
- 財務諸表等の一部を除き、原則、学校自身で公表しているWEBサイトのURLを張り付けてください。
- 各項目において留意すべき点は、「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）」（22文科高第236号）及び「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）」（6文科高第1004号）を参考にしてください。

チェック項目	該当URL	備 考
【法令・評価基準要求項目】		
○ 財務諸表	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	高専機構本部Webサイト
○ 自己点検・評価の公表状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
【学校教育法施行規則第172条の2（〇〇年度～）に係る項目】		
①高専の教育上の目的及び三つの方針に関する情報		
○ 学科ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 専攻ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 卒業の認定に関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/▲▲●●▲▲/	学科・専攻ごとに内容が異なる場合は、それぞれの該当URLを記入してください。
○ 教育課程の編成及び実施に関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 入学者の受入れに関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
②教育上の基本組織に関する情報		
○ 学科の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	「令和●年度小平工業高等専門学校 学校要覧」P15～22
○ 専攻の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
③教員及び教員組織に関する情報		
○ 教員数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p9
○ 教員組織内の役割分担	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p10
○ 年齢構成	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p11
○ 男女別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p12
○ 職別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p13
○ 教員の保有学位、業績、職務上の実績	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学位（本校HP）、業績及び実績（researchmap）
※高等専門学校設置基準の基幹教員に関するの規定を適用している場合は、以下の4項目についても回答すること。		
○ 基幹教員数 （専ら当該学校の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の別）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p13
○ 基幹教員の学位・教育研究業績・経歴・所属・担当科目（科目名、単位数）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学位
○ 基幹教員の教育課程編成その他学科の運営への参画の状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	基幹教員制度を導入している場合のみ記入してください。
○ 他校での基幹教員としての勤務状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
④入学者の選抜に関する情報		
○ 学力検査等の内容並びに試験問題、解答又は解答例及び出題意図	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 合否判定の方法及び基準	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1
○ 合理的配慮の提供に関する対応方法	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1
○ 上記以外の入学者選抜に関する情報	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1
⑤学生に関する情報		
○ 学科、専攻の収容定員	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧P. 7 参照

チェック項目	該当URL	備 考
○ 学科、専攻の入学定員（編入学定員含む）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/▼▼▼▼■●●●●/">https://www.niad.ac.jp/▼▼▼▼■●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	第13条 別表第1～2 第47・48条 別表第3～4 第8条 募集要項に掲載 募集要項に掲載
○ 入学者数、編入学者数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	募集要項に掲載
○ 在学者数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学則等の規則が該当する場合は「備考」欄に該当する条番号を記入してください。
○ 卒業者（修了者）数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 進学者数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	HOME>情報公開>教育研究情報の公表>卒業・修了後の進路（進学先・就職先）
○ 就職者数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	URLのみでは資料の場所が判らない場合は場所等について補足してください。
○ 卒業後の進路（進学及び就職先の状況）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 外国人留学生の数並びに科目等履修生等のうち外国人留学生の数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 入学者及び卒業又は修了した者のうち外国人留学生の数（出身国・地域別内訳を含む。）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	注 1
○ 卒業又は修了後に進学した者及び就職した者のうち外国人留学生の数（出身国・地域別内訳を含む。）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	注 1
○ 在学する日本人学生のうち留学（短期や私費留学等あらゆる対面の留学形態を含む。）した者の数	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	注 1
⑥教育課程に関する情報		
○ 授業科目の名称（学則の別表、授業科目一覧等）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学則別表第2
○ 授業の方法及び内容並びに1年間の授業計画の概要（学期ごとのシラバス）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学則別表第3 学則別表第5 学則別表第6
⑦学修の成果に関する情報		
○ 成績評価基準	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程 専攻科の授業科目の履修に関する規程
○ 進級単位がある場合、進級認定基準（進級に必要な単位数を含む）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程
○ 卒業（修了）認定基準（卒業（修了）に必要な単位数（必修、選択、自由科目別）含む）	準： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a> 専： <a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学校要覧P12～23 教育課程表に修得単位数として記載
○ 取得可能な称号	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
⑧学習環境に関する情報		
○ キャンパス概要	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	キャンパスごとに内容が異なる場合は、記入欄を追加し、それぞれの該当URLを記入してください。
○ 運動施設の概要	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 課外活動の情報（状況や使用施設等）	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	学校HPトップページ「お知らせ」内「トピック」タブに学生活動記事を集約
○ 学習環境、休憩環境	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 所在地、交通手段	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
⑨学生納付金に関する情報		
○ 授業料	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 入学料	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 入学検定料	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	募集要項p9「3. 出願手続」内に掲載
○ 学生寮等の宿舍の費用	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 教材購入費	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 施設利用料等の費用		該当なし
⑩学生支援と奨学金に関する情報		
○ 学生支援（修学支援、進路選択支援、心身の健康に係る支援、障害者支援、留学生支援など）	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	
○ 奨学金の概要（奨学金の種類、要件、申し込み方法等）	<a href="https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/">https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/</a>	

注 1：公表することが望ましいもの

認証評価以外の第三者評価の状況【〇〇高等専門学校】（記入例）

〇年 5 月 1 日現在

※ すべての専攻について、状況を記載してください。

※ 機関別認証評価、JABEE認定プログラム、特例適用専攻科以外の第三者評価を行っている場合は、「その他の第三者評価名」に記載してください。

※ 学校の状況に応じて行を追加してください。

学科・専攻名	JABEE	JABEE認定プログラム名	新規認定 開始年度	特例適用 専攻科	特例適用認定 年月日	その他の第三者評価名	備 考
機械工学専攻	○	〇〇プログラム	2015	○	H27.4.1		
物質工学専攻	○	〇〇プログラム	2016	○	H28.4.1		
電子情報工学専攻	○	〇〇プログラム	2016	○	H27.4.1		
環境都市工学専攻	×			○	H27.4.1		

※ B列およびE列は、認定されていれば○、されていなければ×を選択してください。

## 教員の年齢・性別構成【〇〇高等専門学校】（記入例）

教員の年齢別・性別内訳

性別と年齢別の教員数の合計は必ず一致させてください。  
（欄外P列のチェック表をご活用ください。）

評価実施年度の5月1日現在の状況によってご記載ください。

分類		人数	性別				年齢					
			男性	女性	不回答・未調査・その他		～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～
教員*	校長	1	1	0	0		0	0	0	1	0	0
	教授	59	53	5	1		0	0	10	40	7	2
	准教授	30	28	2	0		0	8	20	2	0	0
	講師	10	8	2	0		6	4	0	0	0	0
	助教	4	3	1	0		3	1	0	0	0	0
	助手	3	2	0	1		3	0	0	0	0	0
計		107	95	10	2		12	13	30	43	7	2
%			88.8%	9.3%	1.9%		11.2%	12.1%	28.0%	40.2%	6.5%	1.9%

\*基幹教員（なお従前の例による場合は専任教員）

基幹教員のうち女性教員の割合が10%に満たない場合は、特記事項でその状況の把握、理由等の分析、具体的な対応に係る取組の状況や将来見通しを記述してください。  
※10%以上の場合は本様式を提出することで足り、それ以上の分析は不要。

基幹教員のうち50歳代の者の数が30歳代の者の数の3倍を超える場合、特記事項でその状況の把握、理由等の分析、具体的な対応に係る取組の状況や将来見通しを記述してください。  
※3倍以下の場合は本様式を提出することで足り、それ以上の分析は不要。



法令遵守事項、危機管理体制等一覧【〇〇高等専門学校】（記入例）

〇年 5 月 1 日現在

危機管理体制等一覧

危機管理事項	規程等の整備状況	責任部署	備考
防火・防災管理	・ 〇〇高等専門学校防火・防災管理規則 ・ 〇〇高等専門学校防火・防災に関する基本方針 ・ 〇〇高等専門学校防火・防災計画	△△委員会	
薬品管理	〇〇高等専門学校安全衛生管理規則	■■委員会	
高圧ガス管理	〇〇高等専門学校高圧ガス安全管理規則	▽▽センター	
放射線管理			該当なし
生物系実験管理	〇〇高等専門学校実験安全管理規則	■■委員会	
その他管理	・ 〇〇高等専門学校リスクマネジメント規則 ・ 〇〇高等専門学校リスクマネジメント基本方針	□□室	

※ 学校の状況に応じて、欄を追加して記載してください。

※ 防火・防災管理、薬品管理、高圧ガス管理、放射線管理、生物系実験管理について、該当しない場合は備考欄に「該当なし」と記載してください。